

# おもいやり

吉永北まちづくり協議会・吉永北まちづくりセンター



令和2年12月号発行

## 令和2年度 吉永北地区行政懇談会

11月6日金曜日、市長・副市長・都市計画課長をお招きして、役員のための縮小開催ではありますが、行政懇談会を開催いたしました。富士市が今年度やってきた事業、そしてこれから行う事業などについて市長より講和いただき、とても参考になりました。

富士市もコロナ禍の中で、今年度そして来年度と税収がとて少なくなる中、必要な市民サービスを見極めること、費用対効果を考えていく必要があります。まちづくり協議会からはコミュニティ交通について質問し、利用者を増やすために市と協力・連携していくことを要望いたしました。

まちづくり協議会長 千葉 辰夫



## 災害と感染症



これまでの歴史から見ても、貞観の富士山噴火や宝永東海地震ではやはり風邪が流行して、多くの方が亡くなり、阪神淡路大震災ではインフルエンザが引き金となり、避難所にて3か月で919人が亡くなっております。避難所においても病気の対策は必須の項目です。

吉永北地区では今年の3月に避難所運営マニュアルを作成しましたが、そこに新型コロナウイルスのため収容人員を大幅に減らし、3密を避けることを加えて更新しております。

(例：収容人員500人→200人、感染予防の専用の部屋を設ける、など)

また、避難所に行くことだけが避難ではありませんので、災害や大型台風などの際には堅牢な建物に避難する、浸水に備え家の2階に避難するなど、自分自身で判断していくことが必要になります。自身の生き残るための選択肢を増やすためにも、在宅避難をするため自宅の耐震化をしておく、食材の備蓄をしておくなど、準備をと心構えをしておくことが重要です。

防災指導員（防災士）